

令和2年度 実践的放射線治療人材育成セミナー Python講習会・初級編 を開催しました！

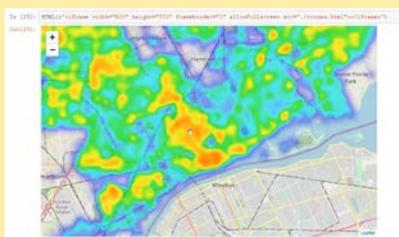
令和3年2月14日(日)にZoomウェビナーにて、4回目となるPython (パイソン) 講習会を開催しました。今回はプログラミング講習会を完全ウェブ実施するというアフターコロナの新標準を視野に入れた試みでしたが、全国から合計372名の医学物理士・診療放射線技師等の方々にご参加いただき、これまでで最大の人材育成セミナーとなりました。

まず、HIPRAC永田センター長の挨拶に始まり、小澤医学物理士長の「本講習会の紹介」を行いました。その後、PyCon JP 2020の講師やPyCon mini Hiroshimaの運営に携わってこられた廻船 孝行先生より「Pythonの広がりとこれからのPython」についての講演が行われました。Pythonと地理データを用いたデータの可視化や、Pythonで扱える機能の豊富さに関する講義で、医療分野外でも広くPythonが活用されることを学べる貴重な内容でした。

続いて、HIPRACのスタッフから、放射線治療計画データや画像データの解析ソフトウェアの作成方法を学ぶことができるよう、Googleが提供しているクラウド環境 (Google Colaboratory) をベースとし、「Pythonのコードの書き方 (変数型、四則演算)」、「リニアックログデータの可視化」、「DICOM RT Planの読み書き」、「Winston-Lutzテスト」の4つのテーマでの実習を行いました。



『廻船 孝行先生』

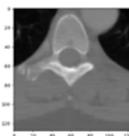


『Pythonを使った、データの可視化』

DICOMデータの読み込み

- pydicomモジュールを利用

```
>>> import matplotlib.pyplot as plt
>>> from pydicom import dcmread
>>> from pydicom.data import get_testdata_file
>>> filepath = get_testdata_file("CT_small.dcm")
>>> ds = dcmread(filepath)
>>> plt.imshow(ds.pixel_array, cmap=plt.cm.gray)
>>> plt.show()
```



『講習会の様子』



『パソコンを駆使して頑張ってます』

参加者の皆様からは、「臨床の現場で活かしたい」、「次年度以降も継続して開催してもらいたい」等、ご好評をいただきました。HIPRACでは、今後も皆様からいただいたご意見を参考にしながら、放射線治療に携わる医療人材の育成に努めていきます。

引き続き各種人材育成セミナーを開催いたしますので、是非ご参加下さい。



©HIPRACに関する質問 (診療・受診方法など) は、
こちらへお問い合わせください。

mail: office@hiprac.jp

HP : <http://www.hiprac.com/>

Tel : 082-263-1330 / Fax: 082-263-1331